

<vol. 125 の記事>

報 告！ 6/12 2011 年次総会を開催しました

会員必読！ 「子どものスポーツ支援プロジェクト」参加意思確認します



2011 年度総会が終了しました

● 2010年度事業と決算が承認されました

6月12日(日)午後3時から、クラブ事務所において2011年度年次総会が開催されました。

昨年度の事業成果と決算報告、今年度の事業計画と予算案が審議され、いずれも承認されました。

昨年度は、2000年以来10年ぶりの単年度マイナス収支を計上しました。20周年事業等を行ったことありますが、会員の増加が図れなかったことや、支出削減が進まなかったことも要因としてあげられます。

totoの助成が後2年間で終わることから、収支構造の改善にむけて取り組んでいく必要があります。

(千円)

	2010年度		参考 2009年度
	予算	決算	
収入	43,925	44,193	52,231
支出	45,184	46,499	51,936
収支	-1,259	-2,306	294

● 2011年度は、新しいスタート

3.11、私たちが経験したことのない、大変大きな地震が東北地方を中心に発生しました。被災地では多くの命が失われ、多くの宝物が失われました。報道等で伝わる被害の様子は、私たちの想像をはるかに超え、言葉を失い、涙がとまらない状況でした。

そのような中でプロ野球の開幕問題、サッカー日本代表のチャリティマッチなど、スポーツ界の動きが大きな関心を集めました。オリンピックやワールドカップをのぞき、スポーツが社会的にこれほどまでに大きくクローズアップされることは、とても珍しいことだと思います。

多くのアスリートが、被災地支援のメッセージを発し、行動を起こしました。同時に、地域のスポーツ団体も支援物資や義援金を集め、マイクロバスにのってガレキの撤去や炊き出しに乗り込みました。浦スポでも、皆さんから協力いただいた支援物資を宮城の塩竈FCに届けてきました。

スポーツをとおした交流が、スポーツの枠を超え、人と人

との絆づくりになっていることを、強く感じる機会ともなりました。クラブに参加していなければ知り合うこともなかったであろう他の地域の方々との交流が、このような大変な時期に発揮されていることは、スポーツに関わる人間として大きな喜びを感じます。

一方で、原発事故に伴う電力不足は、生活はもちろんのこと、クラブの活動にも大きな影響を与えています。電力不足によるナイターの使用自粛は、私たちのような地域スポーツクラブには、ともすると致命的な影響となることを強く意識させられました。2ヶ月近く活動休止を余儀なくされたプログラムもありますが、早く再開してほしい、運動をしないとストレスが溜まる・・・という意見も少なくなかったものと思います。

誤解を恐れずにあえて言うならば、「プロスポーツや学校の部活動はできるのに、地域スポーツクラブは活動できない・・・というのは、市民がスポーツをする権利を平等に与えられていない」ということではないかと思えます。「しょせん素人(しろうと)の余暇活動だから、こういう時には我慢すべきだ」という社会的評価であるとすれば、まだまだスポーツは文化として我が国では根付いていないということになるのではないのでしょうか。

おりしも、先日、スポーツ基本法が成立しました。その前文には「スポーツは、世界共通の人類の文化」であり「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」と明記され、人類固有の権利としての「スポーツ権」が確認されようとしています。

私たちは、自分たちがスポーツを楽しく続けたい、健康に暮らし続けたい、そのためには、自分たちだけでなく、多くの仲間がスポーツを続けられる、健康に過ごしていける社会をつくっていくことが必要と考えて活動してきました。

21年目のあゆみを始めるにあたり、このことの思いをいっそう強くし、スポーツがこの地域で文化として根付き、市民権を得、そこで生まれる交流が、地域の絆を強く・太いものとしていき、国難とも言えるこの時代を救うべく互恵・互助・共助の心が育まれるような活動を展開していきたいと思えます。(総会資料 本年度事業計画より)



2011年度、浦和スポーツクラブは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。

子どものスポーツ支援プロジェクトに参加

● プロジェクトの主旨

全国の地域 SC の仲間から、被災地のクラブを継続的に支援する仕組みをつくろうという声があがりました。

これを受け、中間支援組織であるNPOクラブネッツが中心となり「子どものスポーツ支援プロジェクト」を立ち上げ、全国の地域SCの仲間と呼び掛けを始めています。

『東北のクラブの仲間から、「震災の影響でクラブの会費が払えなくなったという理由でクラブを退会する子どもが出てきている」という話が伝わってきました。東日本大震災及び福島第一原発事故のために従来の生活基盤が大きく損なわれ、スポーツを続けることが難しくなっている子ども達が少なくないことが容易に推察されます。

私たちは、一人でも多くの子供達に震災前に行っていたスポーツを当たり前のように続けてほしいと考えます。そのために、私たちは、スポーツを続けたい子供達を支援する仕組みをつくろうと考えました。

今回の被害の大きさを鑑みると、息の長い支援が必要だと言われています。多くの子供達に長い間支援を続けるには、私たちひとりひとりの力は小さすぎるかもしれません。

しかし、全国の地域スポーツクラブの仲間が、少しずつの小さな力をあわせれば、とても大きな力になるもの信じています。私たちは、全国の地域スポーツクラブの仲間達の力を集め、子供達がスポーツを続けられる環境を守りたいと思います。』

● 浦スポの参加方法

支援の方法は、各クラブが無理なく続けられる方法を工夫することにしています。

そこで、浦スポでは、先日の総会で、以下のような方法をとることを決めました。ぜひ、多くの会員の方に参加いただければと思います。

1 世帯につき、毎月100円を支援金として集める

- ・ 賛同いただいた会員の毎月の会費の引き落とし時に+100円を引き落とす

*会員には詳細な案内を別途配布します。案内をよくごらんいただき、賛同されない方は、その旨を事務所までお知らせください。

浦スポには、およそ1,000世帯が参加しています。100円×1,000世帯=10万円が集まれば、たとえば、月会費2,500円のプログラムの40人分に相当します。40人の子どものクラブでの活動を支援できることとなります。

当面、今年度中実施し、来年度以後については、被災地の状況を勘案しながら判断していきます。

また、6月末までにクラブでお預かりした

義援金は、12万6790円

になりました。この義援金についても、子どものスポーツ支援プロジェクトに託し、東北地方の地域スポーツクラブの子どもの支援につなげます。

福島県からの避難者を支援します！

原発の影響により福島県から、さいたま市周辺に避難されていらっしゃる方で、浦スポのプログラムに参加されたい方には、今年度中は、会費無料で参加いただけます。

ぜひ、私たちと一緒に楽しく体を動かしてリフレッシュしてください！

ただし、プログラムによっては、定員の空き状況によってお断りする場合があります。事務局までご相談ください。

キッズテニス長島コーチが表彰！

キッズテニス三室小を担当している長島さんが、さいたま市から体育功労賞の表彰を受けました。

テニス協会の常務理事として、テニスの普及に継続的に貢献されてきたことが、認められたものです。

クラブでも活躍いただいている指導者の方が、表彰されたことは、とても嬉しいことです。

今後も、クラブのテニス部門の夢である「浦和からシャラボフを！」の実現にむけて、ますますご活躍ください！！



今年も進めてます 水分補給講習会！

今年度も、大塚製薬さんのご支援により、特に屋外の炎天下で行うこととなるサッカー部門を中心に、水分補給講習会を実施しています。

6/15には、浦和高校でU15、U18を対象に行いました。



今後、7/4(月)、11(木)にサッカー広場の小学生や、スーパーニアサッカー広場で実施する予定です。

熱中症予防だけでなく、スポーツのパフォーマンスを高めるためにも正しい水分補給は非常に重要です。しっかりと話をきいて、この夏も、バリバリ活躍しましょう！